

2025年12月期 決算説明会

2026.2.27

- 1** 2025年12月期全社事業概要
- 2** 2025年12月期事業別業績概要
- 3** 2026年12月期からの取り組み

- 1 2025年12月期全社事業概要
- 2 2025年12月期事業別業績概要
- 3 2026年12月期からの取り組み

「止血」と「痛みを伴う縮小」を決定

反転攻勢に向けた足固めを急ピッチで進める

A

鑄造事業は維持

事業規模をいったん縮小し反転攻勢に備える

B

レストラン分野撤退

既存事業の選択と集中

Road to Next Stage

売上100億円構想の具現化

3Dプリンター・CT事業の拡張

積極的なM&Aを仕掛ける



**積極的な買収提案の
実施**

全事業におけるシナジー創出



**自社製品の開発・
販売の強化**

**「HEARTROID」
「アルケリス」との協業**

2026年12月期からの取り組み — 事業範囲を再定義した挑戦

3Dプリンター事業

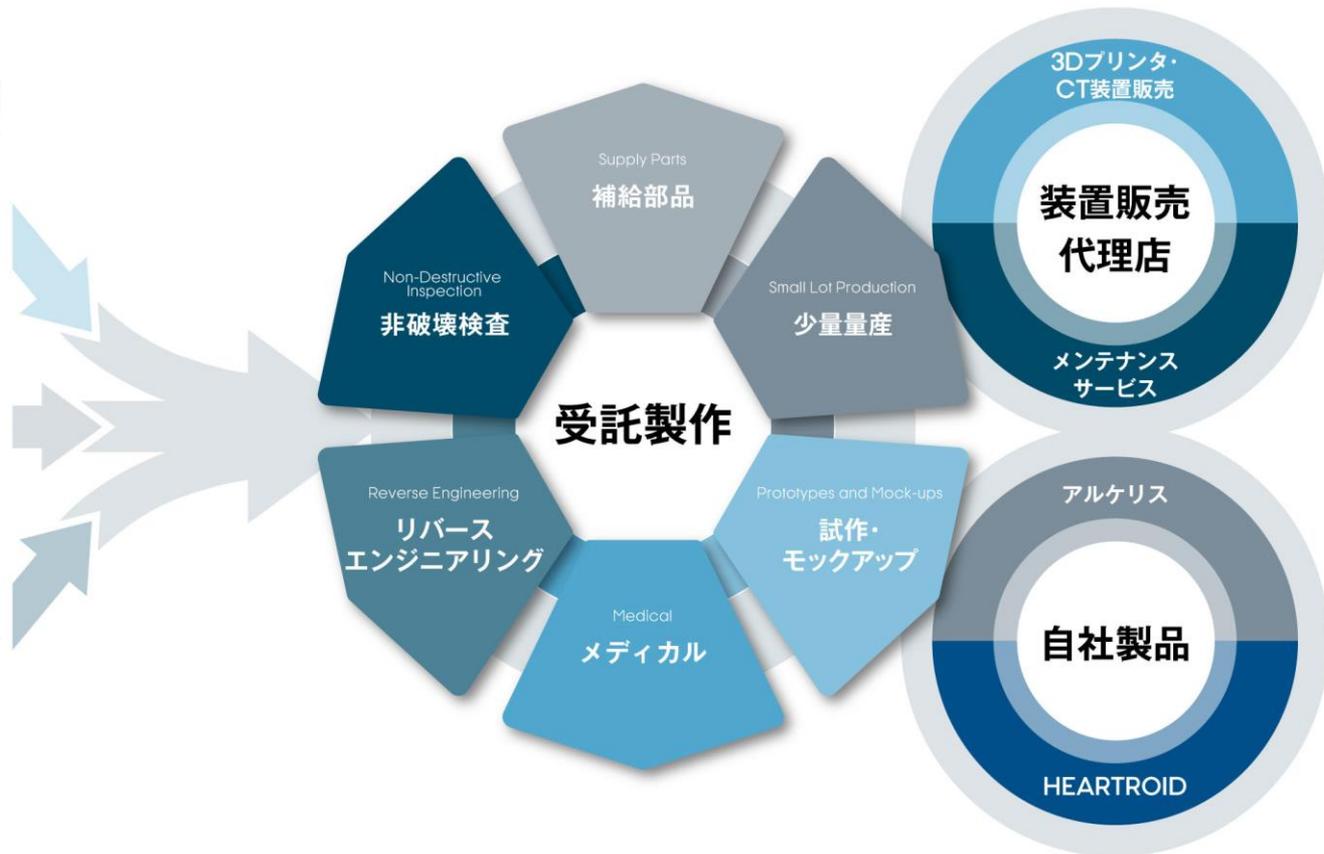
工業部品の試作から販促向けの模型、アート作品など幅広い分野に向けて3Dプリントサービスを提供。業界屈指のノウハウでお客様の課題を解決する。

鋳造事業 (砂型鋳造)

砂型鋳造によってアルミ、マグネシウムの鋳物製造を行う。高い品質と対応力を強みに、自動車・ロボット分野を中心に多くのユーザーから支持を得る。

CT事業

産業向けに特化したCTスキャナによって非破壊検査や、三次元測定サービスを提供。あらゆるニーズに対応可能な設備力・技術力によって業界トップの実績を誇る。



親和性の高い分野への 進出検討

- ✓ シナジー効果が期待できる企業との積極的な協業
- ✓ 資本提携も視野に入れたビジネスモデルの拡張



アルケリス株式会社との 業務提携

▶ **当社取引先顧客への提案**
製造業の課題解決ニーズへの親和性

▶ **新たな顧客層への訴求**
「HEARTROID」で構築した海外販路の活用

シナジーが見込めれば、資本提携協議を前向きに検討

2025年12月期 業績ハイライト 2025年10月修正見通し比

単位：百万円	2025年12月期 見通し (2025年10月修正)	2025年12月期	増減額	増減率
売上高	3,130	3,223	93	3.0%
営業利益	20	103	83	417.9%
営業利益率	0.6%	3.2%	-	2.6P
経常利益	12	101	89	743.4%
経常利益率	0.4%	3.1%	-	2.7P
当期純利益	6	△1,263	△1,269	-

鑄造事業での生産コスト増を受け、2025年10月に利益下方修正を実施
2026年1月には利益項目の上振れと特別損失(減損損失)計上で再度予想を修正

2025年12月期 業績ハイライト 前年比

単位：百万円	2024年12月期	2025年12月期	増減額	増減率
売上高	3,072	3,223	150	4.9%
売上総利益	1,024	1,036	12	1.2%
売上総利益率	33.3%	32.2%	-	△ 1.1P
販売費及び一般管理費	936	933	△ 3	△ 0.4%
営業利益	88	103	15	17.6%
営業利益率	2.9%	3.2%	-	0.3P
経常利益	122	101	△ 21	△ 17.7%
経常利益率	4.0%	3.1%	-	△ 0.9P
当期純利益	50	△ 1,263	△ 1,314	-

3Dプリンター(ハートロイド)事業の売上増加で昨年比微増
大幅な当期純損失を計上

貸借対照表サマリー

単位：百万円	2024年12月期	2025年12月期	増減額	増減率
流動資産	1,535	1,295	△ 240	△ 15.6%
固定資産	3,165	1,567	△ 1,598	△ 50.5%
資産合計	4,701	2,863	△ 1,838	△ 39.1%
流動負債	1,011	787	△ 223	△ 22.1%
固定負債	788	427	△ 360	△ 45.7%
負債合計	1,799	1,215	△ 584	△ 32.5%
純資産合計	2,901	1,647	△ 1,254	△ 43.2%
自己資本比率	61.7%	57.5%		

【資 産】 減損の計上により固定資産が減少

【純資産】 繰越利益剰余金の減少により減少

【負 債】 新規借入をせず返済が進み減少

【自己資本比率】 引き続き高水準を維持

キャッシュ・フロー計算書 サマリー

単位：百万円	2024年12月期	2025年12月期	増減額	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	529	667	138	26.1%
固定資産の取得による支出	△ 241	△ 170	70	29.2%
その他	29	2	△ 26	△ 92.1%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 212	△ 168	43	20.6%
短期借入金の純増減額（△は減少）	50	△ 200	△ 250	△ 500.0%
長期借入れによる収入	100	0	△ 100	△ 100.0%
長期借入金の返済による支出	△ 256	△ 226	30	11.7%
リース債務の返済による支出	△ 76	△ 67	8	11.7%
その他	△ 17	0	17	102.3%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 200	△ 493	△ 293	△ 146.2%
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	116	5	△ 111	△ 95.5%
現金及び現金同等物の期首残高	303	419	116	38.4%
現金及び現金同等物の期末残高	419	425	5	1.3%

営業活動によるキャッシュ・フロー 営業利益の計上により増加
 投資活動によるキャッシュ・フロー 固定資産の取得による支出が減少
 財務活動によるキャッシュ・フロー 借入れ資金の返済を進めたことにより減少

- 1** 2025年12月期全社事業概要
- 2** 2025年12月期事業別業績概要
- 3** 2026年12月期からの取り組み

事業概要・事業領域

3Dプリンター事業

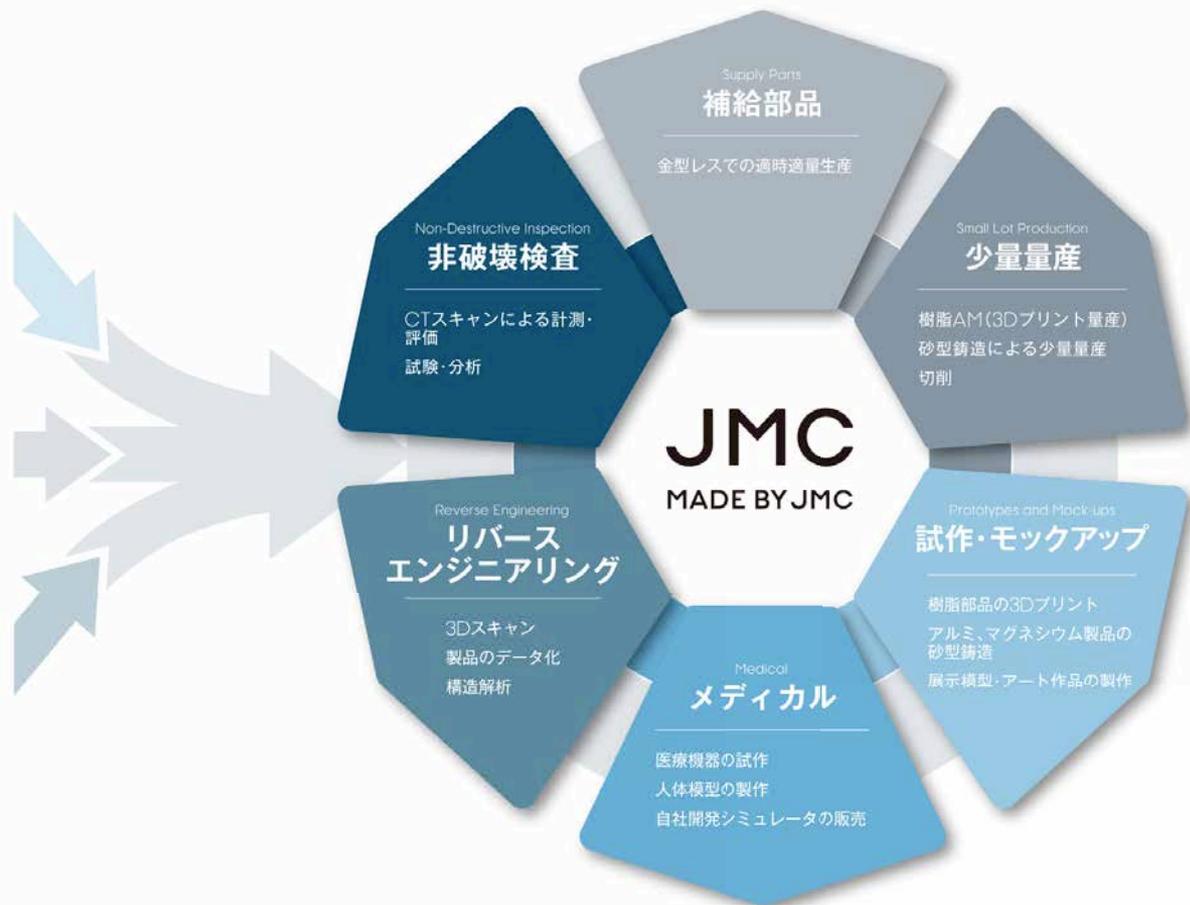
工業部品の試作から販促向けの模型、アート作品など幅広い分野に向けて3Dプリントサービスを提供。業界屈指のノウハウでお客様の課題を解決する。

鑄造事業 (砂型鑄造)

砂型鑄造によってアルミ、マグネシウムの鑄物製造を行う。高い品質と対応力を強みに、自動車・ロボット分野を中心に多くのユーザーから支持を得る。

CT事業

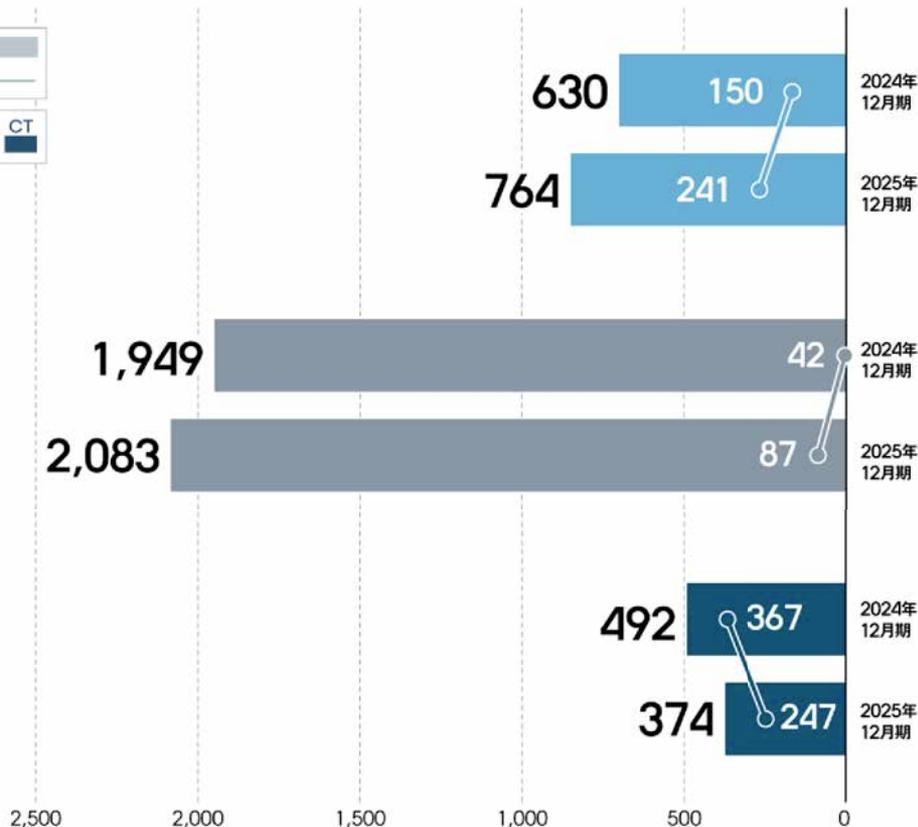
産業向けに特化したCTスキャナによって非破壊検査や、三次元測定サービスを提供。あらゆるニーズに対応可能な設備力・技術力によって業界トップの実績を誇る。



2025年12月期 セグメント別情報



単位：百万円



3Dプリンター事業

「HEARTROID」での営業力強化により、想定を上回る受注・売上を獲得

工業向け試作品分野の組織力強化により、受注スピードが向上し、堅調な売上を確保

铸造事業

EVやFA分野での大型铸造品が中心
新規性の高い部品での製造コスト増

CT事業

顧客共催セミナー、展示会への積極的出展
ボリュームあるCTスキャン案件獲得が減少

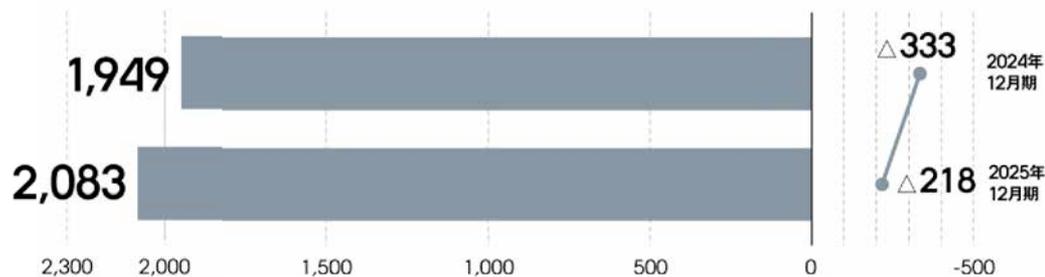
(※) 一般管理費控除前のセグメント利益

2025年12月期 セグメント別情報

単位：百万円	売上高				セグメント利益			
	2024年 12月期	2025年 12月期	増減額	増減率	2024年 12月期	2025年 12月期	増減額	増減率
3D プリンター 事業	630	764	134	21.3%	150	241	90	60.3%
鋳造事業	1,949	2,083	134	6.9%	42	87	44	104.2%
CT事業	492	374	△ 117	△ 23.9%	367	247	△ 119	△ 32.5%
その他					△ 472	△ 473	△ 0	△ 0.1%
損益計算書 計上額	3,072	3,223	150	4.9%	88	103	15	17.6%

鑄造事業における配賦後の利益推移

単位：百万円	売上高				配賦後セグメント利益			
	2024年 12月期	2025年 12月期	増減額	増減率	2024年 12月期	2025年 12月期	増減額	増減率
鑄造事業	1,949	2,083	134	6.9%	△ 333	△ 218	115	34.5%

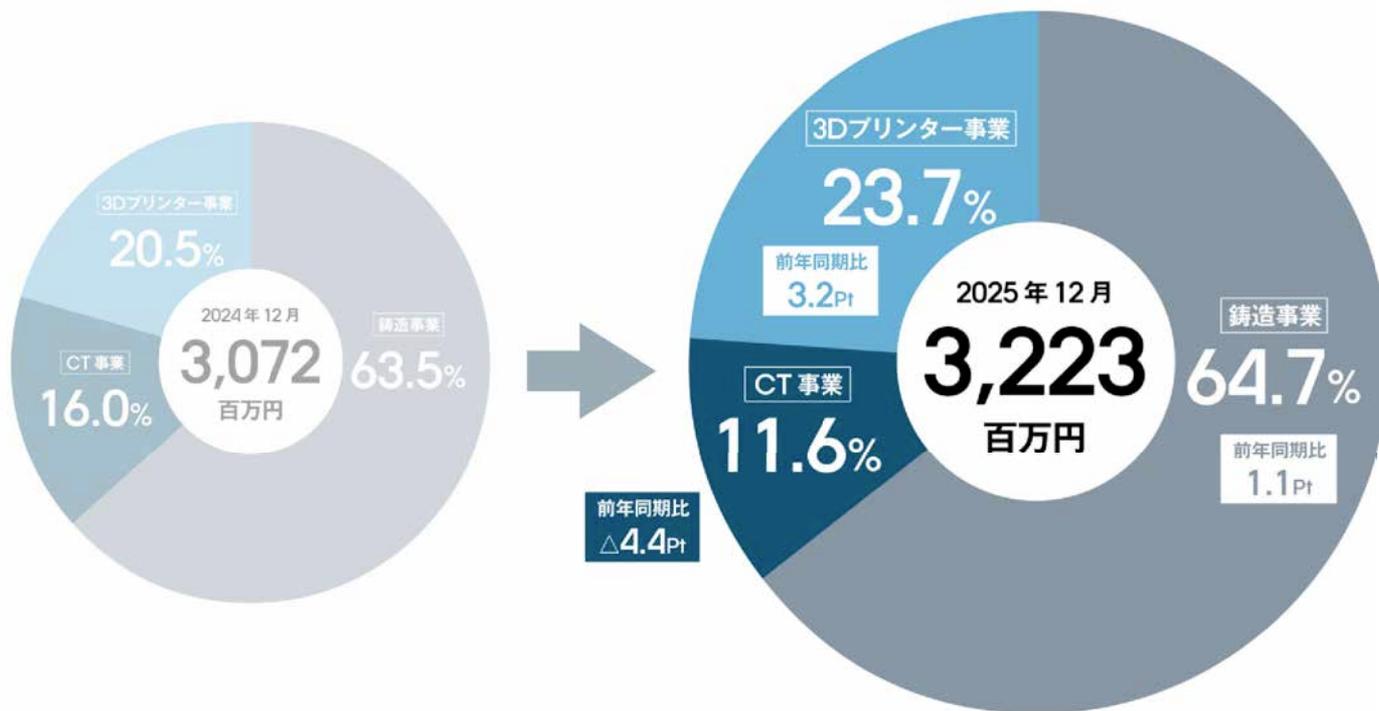


- ▶ 2期連続の配賦後セグメント損失の計上
- ▶ 2026年12月期においても、著しい業績回復は困難と判断

**投資時期が早過ぎたことで過剰となった設備の減損
事業規模を縮小し、組織強化を進める**

配賦は、全社経費を売上比率によって各事業セグメントに按分

セグメント別売上高比率



2026年12月期見通し



3Dプリンター



鑄造



CTスキャン

2026年12月期 見通し(2024年度からの推移)

単位：百万円	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (実績)	2026年12月期
売上高	3,072	3,223	3,020
営業利益	88	103	205
営業利益率	2.9%	3.2%	6.8%
経常利益	122	101	199
経常利益率	4.0%	3.1%	6.6%
当期純利益	50	△1,263	132

※実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合があります。

2026年12月期 セグメント別見通し(2024年度からの推移)

単位：百万円	売上高			セグメント利益		
	2024年 12月期	2025年 12月期	2026年 12月期	2024年 12月期	2025年 12月期	2026年 12月期
3D プリンター事業	630	764	775	150	241	190
増減率			1.4%			△ 21.3%
鋳造事業	1,949	2,083	1,860	42	87	222
増減率			△ 10.7%			152.9%
CT事業	492	375	385	367	248	259
増減率			2.7%			4.5%
その他				△ 472	△ 473	△ 466
増減率						△ 1.6%

※実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合があります。

2026年12月期 セグメント別売上見通し



2024年12月



2025年12月



2026年12月

- 1** 2025年12月期全社事業概要
- 2** 2025年12月期事業別業績概要
- 3** 2026年12月期からの取り組み

振り返り

- ✓ **第8期棟：大型化・量産化工場へ**
幅広い受注サイズ、ボリュームに対応
- ✓ **大型の量産部品に挑戦**
大型品の品質安定化と継続性が難航
- ✓ **新素材を用いた鑄造技術の確立**
「新素材×工法」の最適解導き出しに
手間取り
- ✓ **獲得したノウハウを製品に転化**
レストア分野は撤退を決定

減損損失の計上

鑄造事業：今後の取り組み

- 1 止血**
 - ✓ **採算性の確保**
新規性の高い案件への挑戦は
継続
- 2 縮小**
 - ✓ **体制の再構築**
適正サイズの組織に再編
- 3 発展**
 - ✓ **強い組織で受注活動強化**
採算性確保の目途をつけ、
営業活動を拡張



Road to Next Stage

売上100億円構想の具現化

振り返り

☑ 周知・啓蒙活動強化

自社開発装置で造形サービス展開
共催・カスタマイズセミナー開催
装置販売体制の整備

☑ 装置増備への取り組み

微細積層造形の提案開始
小型汎用装置の導入
新たなCT装置検討

新たな成長ステージに向けた取り組み

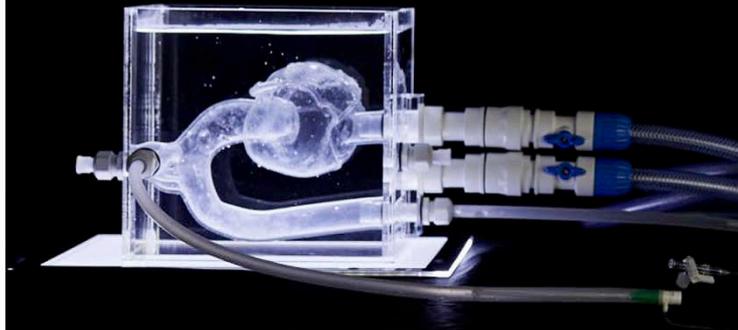
業界の絶対的リーダーとして牽引する

- ③D 「マルチ3Dプリンターファクトリー」具体化
- ③D 装置開発、海外樹脂材料活用で競争力強化
- ③D 装置販売代理店活動を本格化
- ③D 自社発信のプロダクト開発
- ③CT 装置メンテナンスサービスの自社提供
- ③CT 装置保守部品の在庫対応

振り返り

✓ 拡販に向けた調査、人材採用

- HR グローバルマーケット調査
- HR 北米のポテンシャルを再確認
- HR 海外営業担当者の育成



新たな成長ステージに向けた取り組み

海外戦略強化

- HR 北米進出を視野に販売体制強化
- HR 中期的な視点で普及戦略を策定



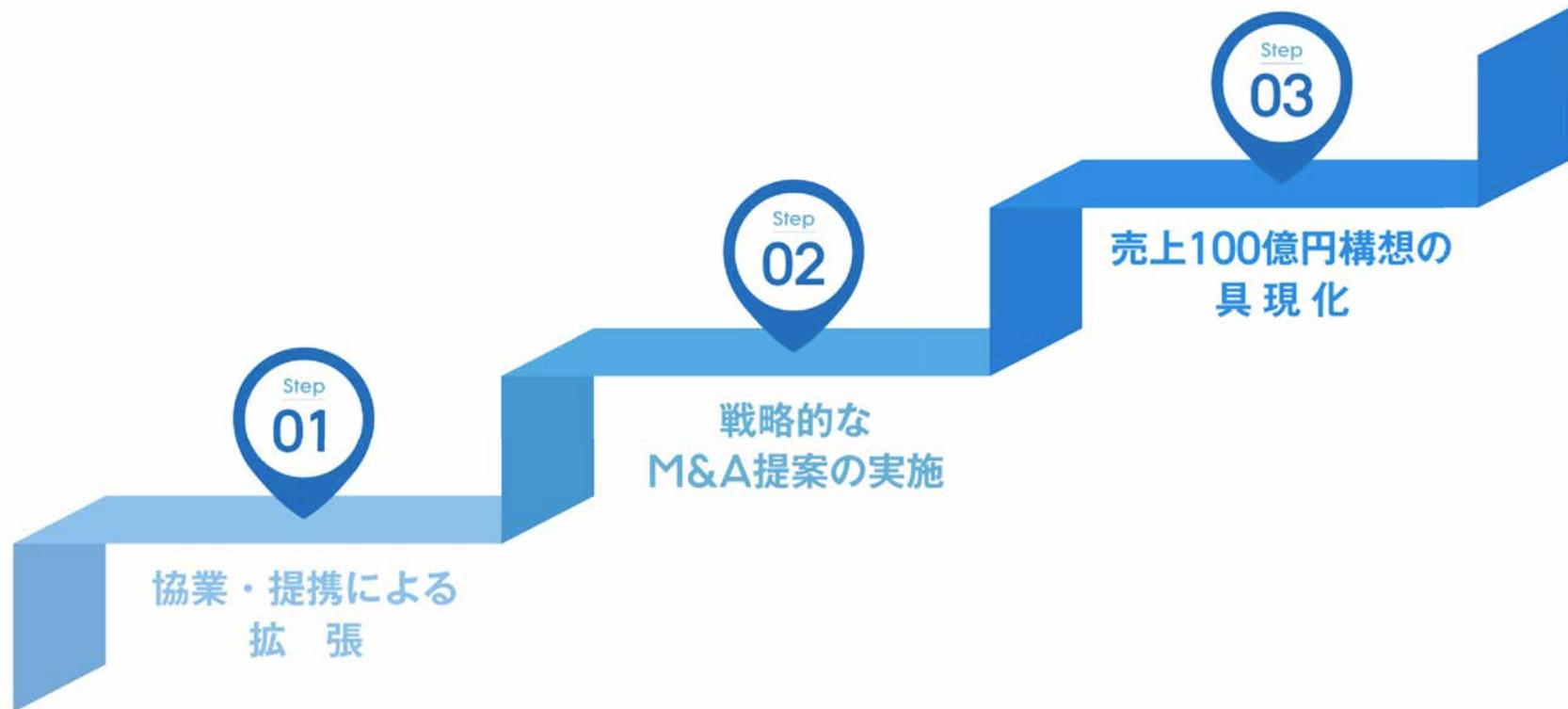
アルケリス株式会社の紹介



テクノロジーとデザインにより、
人類を立ち姿勢の負担から開放し、
世界中の人々が、
いつまでも健康に人生を過ごせる
サステナブルな社会の実現が
私たちの使命です。



2026年12月期からの取り組み — 事業範囲を再定義した挑戦





ご質問は **Q&A** より入力をお願いいたします

Appendix



- [会社名] 株式会社JMC
- [設立] 1992年12月18日
- [資本金] 817,734千円
- [上場市場] 東京証券取引所グロース(5704)
- [従業員数] 166名(臨時雇用者含む)
- [代表者] 代表取締役社長兼CEO 渡邊 大知
- [本社所在地] 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

ホームページのご案内



当社ホームページでは決算情報・プレスリリースのほか、各事業の詳しい内容を発信しています。

www.jmc-rp.co.jp

工場紹介

**コンセプトセンター
川路**
長野県飯田市
鑄造事業、CT事業
3Dプリンター事業

**コンセプトセンター
伊豆木**
長野県飯田市
鑄造事業

ミーリングセンター
静岡県浜松市浜名区
鑄造事業

本社
神奈川県横浜市港北区
3Dプリンター事業
CT事業

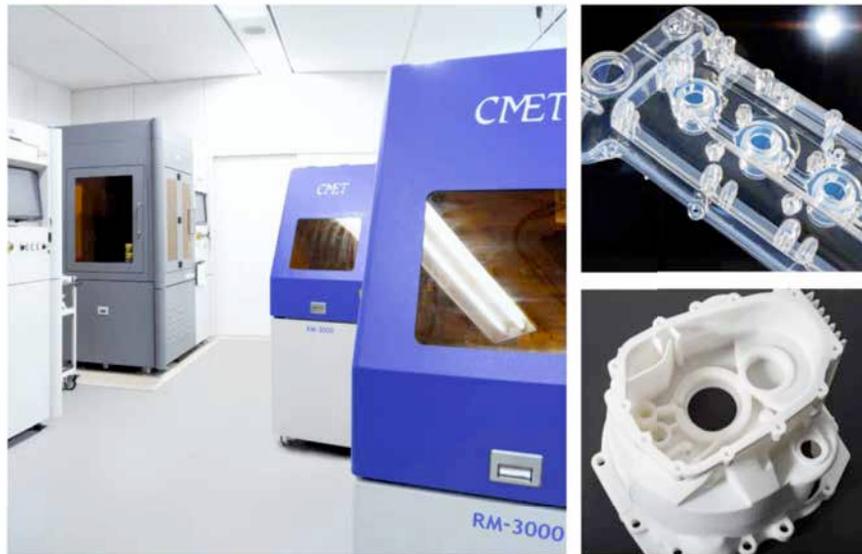
MADE BY JMC

事業紹介



鑄造事業

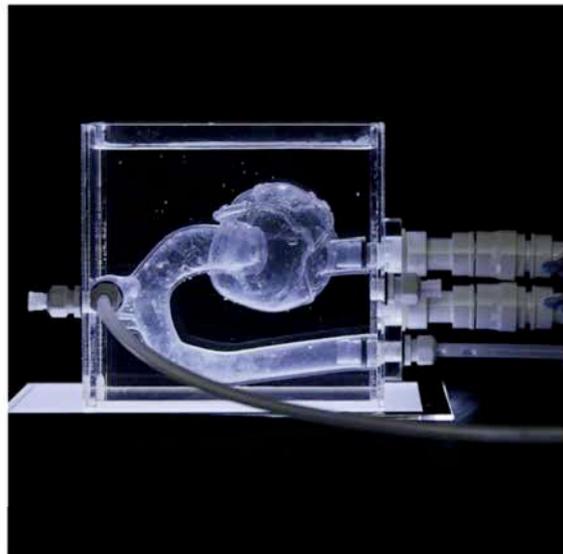
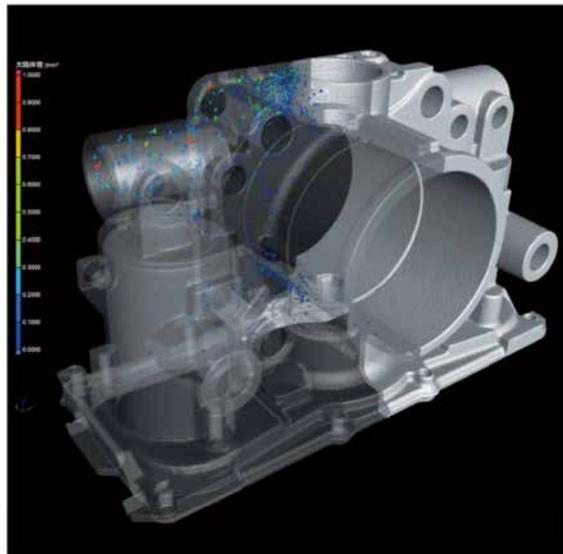
精密砂型鑄造による試作、量産を行っています。柔軟な材料対応力と、社内一貫生産による短納期対応、産業用CTを始めとする最新機器による高度な品質保証を特徴としています。



3Dプリンター事業

工業部品の試作やモックアップを3Dプリンターで製作するサービスを行っています。豊富なキャパシティで短納期化を実現します。また、2020年7月より3Dプリンターによる樹脂製品の量産サービスを開始しました。

事業紹介



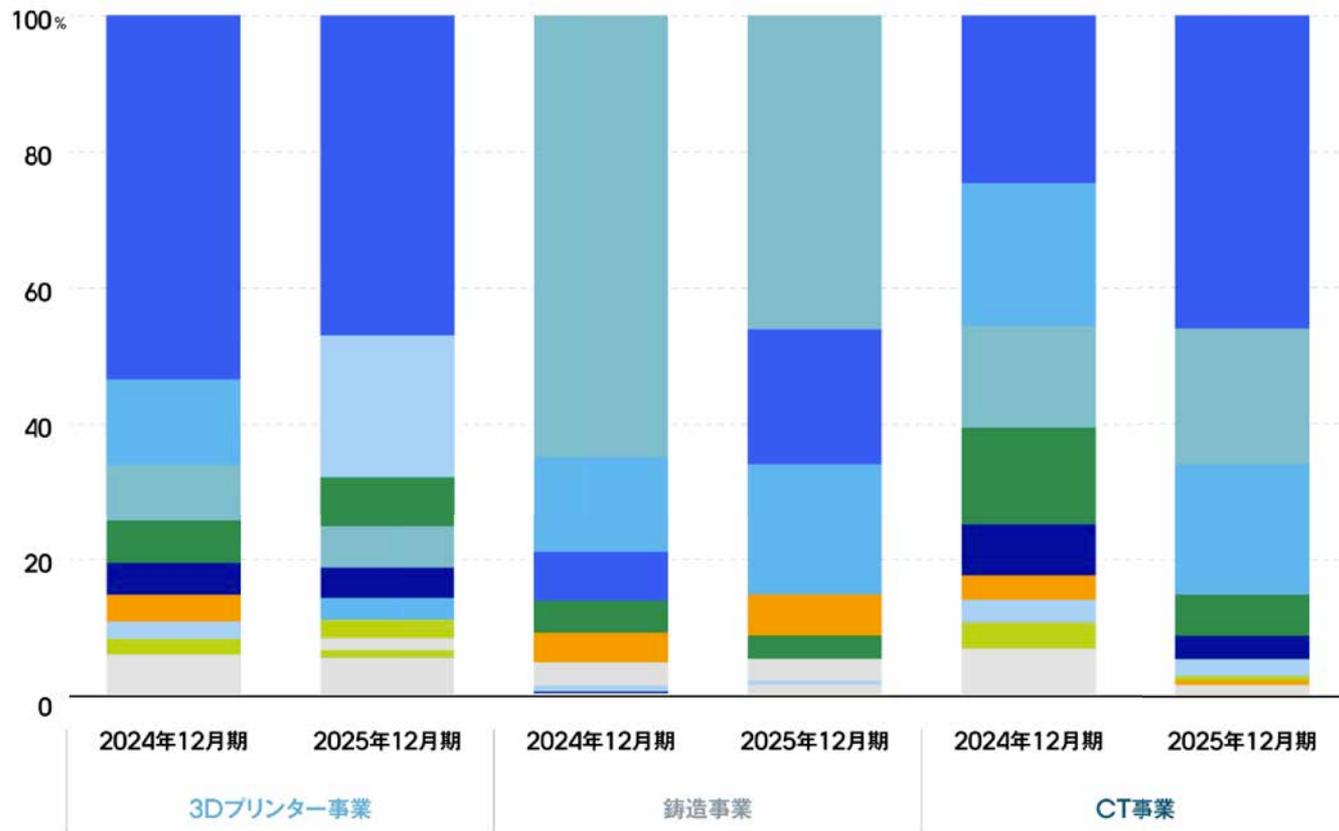
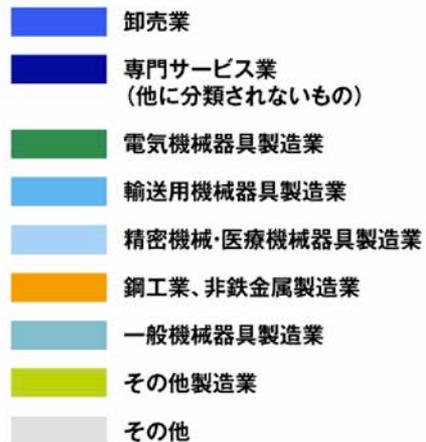
CT 事業

産業用CTスキャナを使用した三次元測定サービスを行っています。産業用CTは他の測定方法に比べ、複雑形状や複合部品のスキャンを得意としており、幅広い分野で活躍しています。

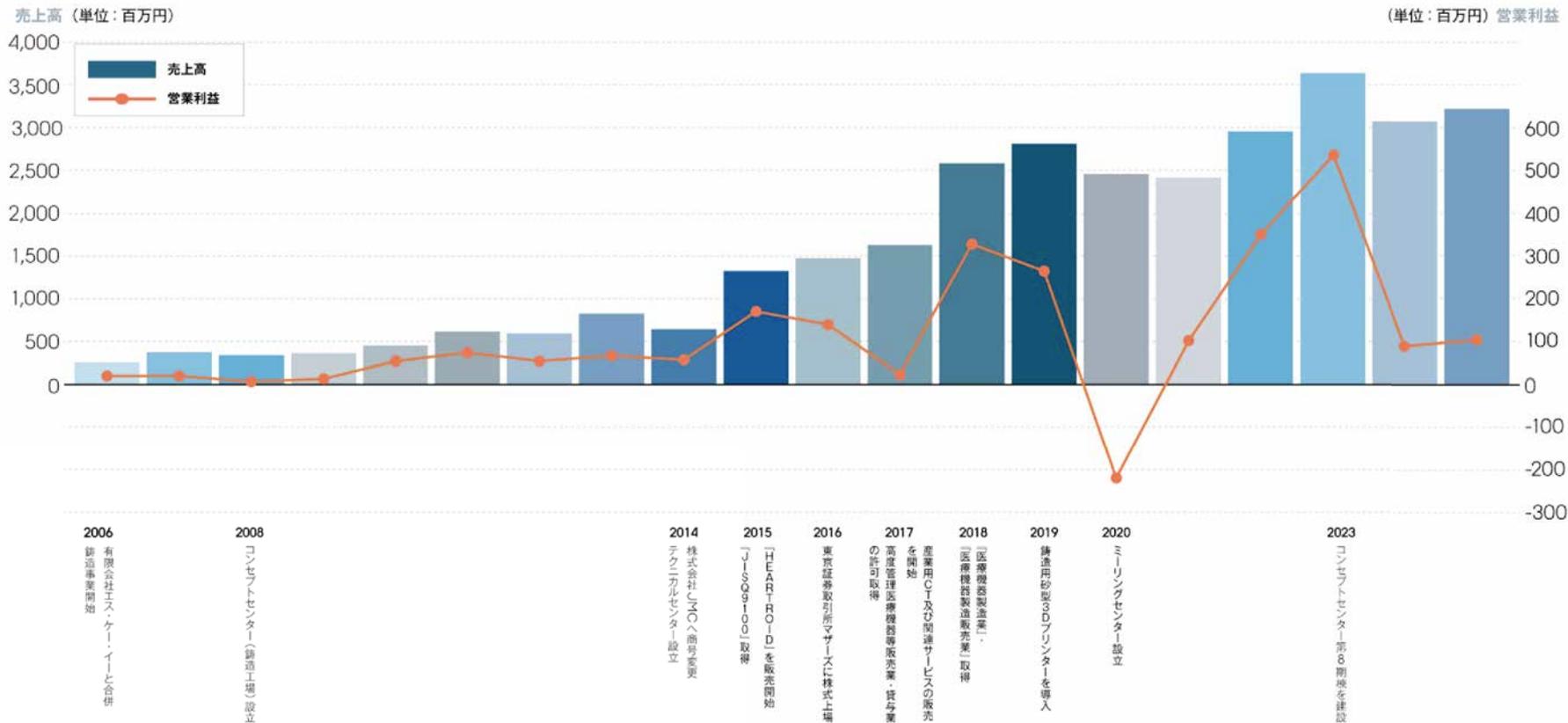
メディカル

心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID(ハートロイド)」をはじめとして、3Dプリンター技術を活用したオーダーメイドの臓器モデルや医療用シミュレーターを開発・製造し、治療技術の向上に寄与しています。

産業別売上高比率



業績推移



お問い合わせ



JMC コーポレートサイト
jmc-rp.co.jp/



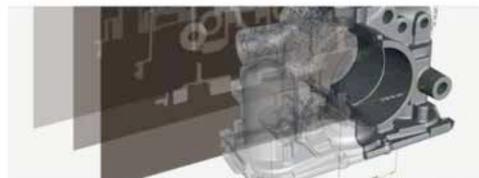
3Dプリンター出力サービス
3d-printout.com/



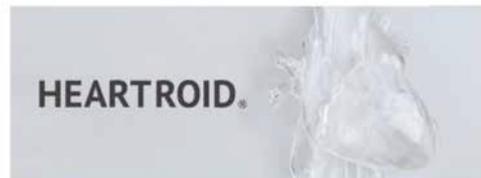
Additive Manufacturing
3d-printout.com/am/



砂型鋳造
metal-casting.jp/



産業用CTスキャンサービス
jmc-ct.jp/



HEARTROID
heartroid.jp/



3Dプリント臓器模型
medical-jmc.com



CT生物図鑑
ctseibutsu.jp/



3DiH 3D Innovation Hub
3dih.jp/



将来の見通しに関する注意事項

本説明会および説明資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。

将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会および説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

本資料中に記載されているロゴ・会社(機関)名・製品名は、各社(機関)の登録商標または商標です。

将来の見通しに関する注意事項

◆本件に関するご連絡先◆

株式会社JMC 経営企画室

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

電話番号:045-477-5751 E-mail:ir@jmc-rp.co.jp